

西太后 (1984)

火焼圓明園／垂簾聽政

メディア 映画

ジャンル 歴史劇

製作国 中国／香港

色彩 Color

時間 129分

初公開日 1985/04/27

公開情報 東宝東和

【解説】

中国、清朝の時代に生きた伝説の女帝“西太后”。その波乱に満ちた半生を壮大なスケールで描いた歴史スペクタクル。満州人の名家に生まれた16歳の少女、玉蘭（後の西太后）。彼女は清朝にとって呪われた部族である“エホナラ部族”の出身であり、とうてい出世など見込める立場ではなかった。が、しかし巧みに皇帝にとりいり、第二夫人の地位を得て皇太子を出産。遂には皇后麗妃（後の東太后）と共に政治を司るようになる。この映画は元々「円明園炎上」、「垂簾聽政」という二作品をまとめ上げた物であり、その政治的実権を握るまでの過程を、英・仏の東方進軍や、太平天国の革命、円明園の焼き打ちなど、歴史的事件を取り入れながら克明に記録した手腕は見事で、また宮廷内の生活風景の描写も興味深い。ラスト、東太后の哀れな姿は印象強く、観る価値ありの一本である。

【クレジット】

監督 リー・ハンシャン Li Hanxiang (Li Han Hsiang)

脚本 楊村淋

撮影 ヤン・リン

音楽 葉純文

出演 リウ・シャオチン Liu Xiaoging

レオン・カーフェイ Leung Kar-fai

チャン・イップ Chan Yip

チェン・ダオミン Chen Dao-Ming